

全国数学教育学会 平成29年度総会・第46回研究発表会 プログラム

日時：平成29年6月24日(土)・25日(日) 会場：滋賀大学(石山キャンパス)

※1件の研究発表の時間は25分(発表15分・質疑応答10分)です。プロジェクトは準備しますが、PCは発表者がご持参下さい。なお、接続はRGB端子のみの対応となりますので、ご注意ください。
 <第1日> 6月24日(土)

開会行事・総会(13:30~14:50) (A会場：大講義室)

		A会場(大講義室)	B会場(中講義室)	C会場(視聴覚室)	D会場(25番教室)	E会場(35番教室)
1	15:00	A-1 中和渚(関東学院大学)・渡邊耕二(宮崎国際大学)・松尾七重(千葉大学) インタビュー調査による数・図形・測定領域における幼児の理解の現状	B-1 大谷洋貴(広島大学大学院生)・日本学術振興会特別研究員 統計的に推測する力を育む統計カリキュラムの具体化に向けて	C-1 ファウラ みどり(広島大学大学院生)・英数学館小学校 数直線を用いた児童の演算決定に関する研究	D-1 茂野賢治(立命館大学) 極限概念の認識過程の検討-数学教師志望学生に焦点を当てて	E-1 Mulia Putra(広島大学大学院生) Muatan lokal in Aceh Province and Its Existence in Mathematics Learning Process at School
	15:25					
2	15:30	A-2 松村香里(広島大学大学院生) 算数科における自己生成的な見方を促す学習材の開発研究—言語ゲームというかくれたカリキュラムに着目した調査とその報告—	B-2 加藤一樹(埼玉大学大学院生) 推測統計の指導に関する一考察(2)	C-2 渡邊公夫(早稲田大学) 学校数学における様々な“不整合”の克服(1)~二項演算としての乗法と数の二重構造~	D-2 村原 英樹(中村学園大学) 小学校教員免許取得希望学生に対する授業方法の指導について~算数科の模擬授業を通して~	E-2 Ijlal Eltahir Ibrahim Ahmed(広島大学大学院生) Mathematical Modelling in Sudanese Secondary School
	15:55					
3	16:00	A-3 岸本忠之(富山大学) 小数の乗法の授業における児童の認知的葛藤の変容	B-3 福田博人(岡山理科大学) 統計教育カリキュラムの分析方法論の構築—活動と文脈を観点として—	C-3 渡邊公夫(早稲田大学) 学校数学における様々な“不整合”の克服(2)~数直線と複素数平面の構成~	D-3 木根主税(宮崎大学) 数学教師志望学生による授業実践についての省察に関する研究(4)—ベテラン教師のメンタリングのもとでの教職大学院生の省察—	E-3 Sommay Shingphachanh(広島大学大学院生) Analyzing the Fractions in the Lao Mathematics Curriculum
	16:25					
休憩(16:25~16:35)						
4	16:35	A-4 清水邦彦(立教新座中学校・高等学校) 多様な数学的表現の主體的な活用を目指した授業の実践	B-4 溝口達也(鳥取大学)・阿部好貴(新潟大学)・大滝孝治(北海道教育大学) 数学的活動のレイヤー論とプラクセオロジー論の比較	C-4 中西隆(広島大学大学院生) 高校数学教育における探究に基づく文化的成分の事例について—生徒が表出する象徴に焦点を当てて—	D-4 大林正法(兵庫教育大学大学院連合学校院生) 小学校段階における図形の論理的思考の発達に関する研究	E-4 葛岡賢二(上越教育大学大学院生)・宮川 健(上越教育大学) 教科横断型SRPにおける数学的な探究~「世界人口総和問題」を題材にした中学校での実践の分析~
	17:00					
5	17:05	A-5 佐藤学(秋田大学)・重松敬一(奈良教育大学名誉教授)・赤井利行(大阪総合保育大学)・杜威(秋田大学)・新木伸次(国士館大学)・椎名美穂子(秋田県総合教育センター) 児童が発展的に考えることを支援する授業モデルの開発と実践	B-5 上ヶ谷 友佑(広島大学附属福山中・高等学校) 数学的概念の形成過程における表層的具象化:中学校1年「正の数・負の数」における発展的問題のグループワーク分析から	C-5 鶴野真哉(埼玉大学大学院生) 実験を取り入れた数学的活動に関する研究—「温度の変化」を題材とした指数関数の教材を事例として—	D-5 小泉健輔(東京学芸大学大学院連合学校院生) 学校数学における基本的な図形概念の規定に関する一考察—『原論』から見る原初的な発想を参考に—	E-5 萩原友裕(鳥取大学大学院生)・溝口達也(鳥取大学) 「重心」に関する教授学的転置と新たな授業デザイン~人口重心を問いとしたSRP~
	17:30					

懇親会(18:20~20:20) 会場：琵琶湖ホテル3F・瑠璃

全国数学教育学会 平成29年度総会・第46回研究発表会 プログラム

<第2日> 6月25日(日)午前

		A会場(大講義室)	B会場(中講義室)	C会場(視聴覚室)	D会場(25番教室)	E会場(35番教室)
6	9:00	A-6 井上優輝(広島大学附属中・高等学校)・服部裕一郎(高知大学)・松原和樹(中央学院大学)袴田綾斗(広 組合せ論における諸問題を教材と したクリティカルシンキングを育 成する数学授業の開発—高校数学 における授業実践「リーグ戦の対 戦計画」を通して—	B-6 両角達男(横浜国立大学)・荻 原文弘(佐久長聖中学・高等学校) スパイラルを重視した代数の単元 での数学的探究とその特徴	C-6 紙本裕一(梅光学院大学)・岩 崎秀樹(広島大学名誉教授) 多言語に対応するための数学授業 の開発研究(1) —二項定理を題材とした教材その ものの困難性—	D-6 米山京香(広島大学大学院生) 数学教育における空間的思考を育 成する活動に関する一考察	E-6 SatoshiKUSAKA(広島大学大学 院生) A Comparative Analysis of Primary Mathematics curriculum in Mozambique- A present situation of the curriculum which was transplanted from developed countries, referring to Portugal -
	9:25					
7	9:30		B-7 荻原文弘(佐久長聖中学・高 等学校)・両角達男(横浜国立大学) 単元「平方根」における数学的活 動の特性に関する研究		D-7 小野翔平(岡山大学大学院生) 小学校6年生の空間的思考の発達に 関する研究-ポップアップカードの 仕組みに関するインタビュー調査 をもとにして-	E-7 石井洋(北海道教育大学函館 校) ザンビア授業研究の文脈性を考慮 した授業改善に関する一考察
	9:55					
		休憩(9:55~10:15)				
	10:15	【シンポジウム】 テーマ：数学教育研究としての教材開発のあり方 会 場：A会場(大講義室)				
		オーガナイザー：山田篤史先生				
		発 壇 者 ： (1) 植田敦三先生 (2) 岩崎秀樹先生・杉野本勇氣先生				
		(3) 佐々裕之先生 (4) 岡崎正和先生				
	11:45					

昼休憩(11:45~12:45)

全国数学教育学会 平成29年度総会・第46回研究発表会 プログラム

<第2日> 6月25日(日)午後

	A会場(大講義室)	B会場(中講義室)	C会場(視聴覚室)	D会場(25番教室)	E会場(35番教室)
8	12:45 A-8 太田誠(東海学園大学) 学習者が主導権をもって学ぶことができる算数学習の取り組み	B-8 井上秀一(湘南工科大学) 数学的リテラシーを育成する学士課程の教育	C-8 袴田綾斗(広島大学附属中・高等学校)・上ヶ谷友佑(広島大学附属福山中・高等学校)・早田透(鳴門教育大学) 含意命題の真偽の規定方法が「論理」のカリキュラム構成に与える影響—間接証明法に焦点をあてた教科書のブラクセオロジー分析—	D-8 片山大輔(熊本大学大学院生) ジオボードの学習活動に関する研究—C. ガッテニョー『ジオボード幾何学』(Geoboard Geometry:1971)に関する考察を通して—	E-8 Nur Robiah Nofikusumawati Peni(広島大学大学院生) Designing an Ethnomathematics Curriculum Principles from the Perspective of Realistic Mathematics Education
9	13:15 A-9 松島充(香川大学) 算数・数学学習と対話	B-9 阿部好貴(新潟大学)・内田豊海(鹿児島女子短期大学)・大滝孝治(北海道教育大学釧路校)・岩崎秀樹(広島大学名誉教授) 数学的リテラシー育成という視点からみた言語活動に関する基礎的研究(1)	C-9 早田透(鳴門教育大学)・上ヶ谷友佑(広島大学附属福山中・高等学校)・袴田綾斗(広島大学附属中・高等学校) 「偽の世界」の自然な探求に基づく背理法の認識過程	D-9 杉浦祐輝(埼玉大学大学院生) 算数・数学科におけるデジタル教科書の位置付けに関する研究(2)	E-9 新井美津江(広島大学大学院生) フィリピン小学校数学教師の教授的推論と活動の過程における課題
10	13:45 A-10 田中謙吾(大阪教育大学大学院生) 社会的構成主義を視点とした高等学校数学科におけるグループ活動の分析方法に関する研究	B-10 渡辺信(日本数学検定協会・生涯学習数学研究所) できるだけ多くの解法を求めめる—条件の多い問題から新しい問題へ—	C-10 浦山大貴(広島大学大学院生) 数学教育における間接証明の困難性に関する研究—我が国の文脈における背理法の困難性の分析—	D-10 高木和久(高知工業高等専門学校) 動画や動的オブジェクトを含む数学のCBT問題の試作	E-10 ミグダリスキー・ウラディーミル(同志社大学) 他国籍の講師による教科教育法：日本で中学生に数学を教えるコツ
休憩(14:10~14:20)					
11	14:20 A-11 杉野本勇気(長崎大学)・岩知道秀樹(広島大学附属三原中学校)・福田博人(岡山理科大学)紙本裕一(梅光学院大学)・岩崎秀樹(広島大学名誉教授) 数学教育学の教授学的反省：数学的帰納法の無限性に焦点化した教材開発を通して	B-11 川内充延(兵庫教育大学)・渡邊公夫(早稲田大学) 平方根の導入のための素地指導に関する一考察—数の動的なイメージの構築を目指して—	C-11 濱中裕明(兵庫教育大学)・吉川昌慶(兵庫教育大学) 「複素数平面」における「平面上の変換」—APOS理論の視点から—	D-11 高井吾朗(愛知教育大学) 練り上げにおける間主観的なメタ認知の指導についての一考察	E-11 中村剛(広島大学大学院生) 超越的再帰理論の拡張についての一考察—ツール横断型超越的再帰モデルを用いた数学的理解過程の予測について—
12	14:50 A-12 石橋一昂(広島大学大学院生・広島大学附属福山中・高等学校) 中学校数学科における条件付き確率の素地指導に関する一考察	B-12 蓮井洋城(立命館宇治中学校) 関数・グラフ概念の変遷と教育場面での留意点	C-12 田名瀬寛史(大阪教育大学大学院生) 結び目理論を題材とした探究的な学習の在り方～「疑問の発生」および「課題の更新」に焦点を当てて～	D-12 西宗一郎(広島大学大学院生) 数学のよさを感じさせる指導に関する一考察	E-12 鎌田真司(兵庫教育大学大学院生) 高等学校における関係的理解を促す数学学習に関する研究—問題解決プロセス図を用いた実践の分析から—
13	15:20 A-13 鷺田康弘(兵庫教育大学大学院生) 生徒の自ら学ぶ意欲を育てる数学科の個別指導に関する研究	B-13 竹内春花(大阪教育大学大学院生) 前期中等教育における解析幾何的内容に関する日英比較研究—ブラクセオロジーを視点とした教科書比較を通して—	C-13 今野晃(早稲田大学大学院生) √2-1の近似列の幾何的解釈を促すピタゴラス三角形に関する教材開発研究		

閉会行事(15:50~16:00) (A会場：大講義室)